



『東北圏だより』

JR常磐線が約9年ぶりに全線開通！

2020年3月14日（土）、JR常磐線が東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により不通となっていた区間（富岡駅～浪江駅間）で運転を再開し、約9年ぶりに全線でつながりました。

これにより、東北運輸局としても念願であった、東日本大震災で被災した東北の鉄道は全線区で復旧いたしました。

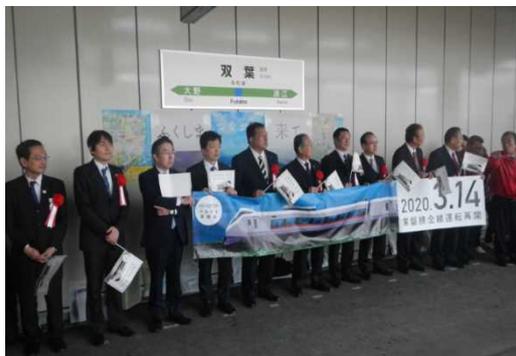
新型コロナウイルス感染防止のため記念セレモニーは中止となりましたが、全線開通当日は、JR双葉駅において「全線運転再開記念の特急列車出迎え式」が開催され、赤羽国土交通大臣が「常磐線全線開通によるアクセスの改善で、さらに復興が加速化され、住民の皆様の故郷帰還が進むことを大いに期待している」とご挨拶されました。

そして出迎え式の後、赤羽国土交通大臣、水嶋鉄道局長、吉田東北運輸局長、内堀福島県知事、沿線自治体の首長ら関係者と沿線住民など多くの方々が、JR上野駅発（仙台行き）の特急一番列車「ひたち3号」をホームで出迎え歓迎いたしました。

東北運輸局



▲赤羽国土交通大臣 祝辞



▲双葉駅での特急列車の出迎え



▲特急列車「ひたち3号」双葉駅到着

沿線住民の方々の喜びも大きく、「おかえり常磐線」との横断幕を持った方や「思いも人もつながる、つなげる」との旗を大きく振る方など、本当につながって良かったと涙が出る思いでした。

このたびJR常磐線は全線運転再開を果たしましたが、沿線自治体における復興はまだまだこれからであり、各駅を拠点とする交通網の整備や観光推進など引き続き支援が必要であると強く感じているところです。

また、全線開通したJR常磐線を支えていくことも重要でありますので、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、ぜひJR常磐線をご利用されてみてはいかがでしょうか。



▲喜びの沿線住民の方々

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。

メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp